

風評被害の

ケース別の事例に学ぶ！

実情と対策

風評被害とは、新聞やテレビの報道による、消費者の過剰反応による被害と言えます。去る東日本大震災の後の風評被害はとどまることを知らず、深刻な被害をもたらしております。放射能の被害は過去に例がなく、また未だその実態もつかめないために、これからどれほどの風評被害を及ぼすのかわかりませんが、『風評被害そのものの実態と傾向』を学ぶことは、少なからず有益であると思われます。過去に風評被害をもたらした様々な事例に学び、今後の対策を考察いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

講師

はつかのひろあき
初鹿野 浩明 氏

講座内容



中小企業診断士

1960年茨城県生まれ。茨城大学理学部化学科卒業。信越化学工業を経て、家業である旅館業・弁当製造業を継ぐ。ホテル業、レストラン業、弁当製造業、学習塾等を経営。2000年に経営コンサルタント会社(現(株)経営科学研究所)を設立、代表取締役。中小企業の経営者と共に、感に頼った経営から、科学的に裏付けされた経営を目指す。企業再生、経営革新、風評被害を主に支援している。主著として、飲食店を製造業の視点でみた「焼き鳥はなぜ串に刺さっているのか？」(PHP研究所)。

- ① 風評被害の定義
- ② 雲仙普賢岳の例
- ③ JCO 臨界事故の例
- ④ BSE 問題の例
- ⑤ 阪神・淡路大震災の例
- ⑥ 風評被害から復帰の傾向
- ⑦ 風評被害を受けた場合の対策

日時

平成23年10月25日(火) 13:30~16:00

会場

会津喜多方商工会議所 喜多方市字沢ノ免 7331

受講料

無料

定員

40名

申込方法

下記受講申込書にご記入の上、FAX・電話にて下記までお申込みください。

主催

会津喜多方商工会議所・中小企業相談所

TEL : 0241-24-3131 FAX : 0241-25-7171

「風評被害の実情と対策」受講申込書

平成23年10月25日

事業所名		TEL	
事業所所在地		FAX	
受講者氏名			

ご記入いただいた情報は、当所からの各種連絡・情報提供等にも利用させていただきます。